

もろかずお Vol.14



議会
録画配信

北本をずっと
住み続けたい街にする

北本市議会議員 会派みらい れいわ新選組公認

毛呂一夫 (もろ かずお)



公式ホームページ



ご意見箱

ご意見・ご相談お寄せください

080-5871-3536



令和7年 第2回北本市議会定例会 一般質問



③ 市民の声がもっと市政に反映させられるまちについて

駅掲示板・WEB掲示板の利便性向上について

駅掲示板に迷子猫、犬の搜索願掲出及び犬猫保護団体の会員募集を掲出させていただきたいが？

市民団体が利用いただく際には、「市の公共性、中立性又は品位を損なうもの」「政治又は宗教活動に関するもの」「営利を目的としたものや個人的な活動・募集に関するもの」「特定の対象者に向けた催し物の案内や連絡等」「開催場所が市外の事業に関するもの」などの掲示物は、掲示することはできません。

WEB掲示板につきましても、同様の利用条件としています。迷子猫、犬の搜索願については、動物愛護の観点等から一定の公共性があるといえますが、利用条件のうち、「個人的な活動・募集に関するもの」に該当するため、掲示することはできませんが、保護団体の会員募集等については、掲示は可能と考えます。

《総括》保護団体の会員募集等については、掲示は可能であるとのこと答弁に基いて利用させていただきます。

デーノタメ遺跡の有効活用について

デーノタメ遺跡は北本市の宝であり、今回国指定史跡となりました。デーノタメ遺跡の露出度を高めて、多くの北本市民の方に愛着をもっていただく為のデーノタメ遺跡のPR、市内外からのリピーター増への取組みは？

デーノタメ遺跡は、令和6年10月11日に国指定史跡となりました。令和6年11月30日に「きたもと縄文まつり2024」を開催。

ステージイベントやワークショップ、縄文食体験などを実施、「&green market」を同時開催し、子供も含めたより多くの方が楽しめるようなイベントにしました。ステージイベントとして、縄文文化をイメージしたオカリナ演奏、合唱、タップダンス、弾き語りなどを披露、ワークショップとして、弓矢体験、土器づくり体験、クミ割り体験、縄文服・アクセサリ体験、縄文土器パズル体験などを市民グループと協働で開催し、子供たちを中心に、大変好評でした。NHKラジオや各種新聞でも取り上げられました。令和7年3月8日に、文化センターホールにおいて、遺跡や縄文文化のシンポジウムを開催し、デーノタメ遺跡の歴史的価値・巨大集落を支えた食文化等について専門家の方より御講演を行って戴きました。

NHKラジオや各種新聞でも取り上げられました。令和7年3月8日に、文化センターホールにおいて、遺跡や縄文文化のシンポジウムを開催し、デーノタメ遺跡の歴史的価値・巨大集落を支えた食文化等について専門家の方より御講演を行って戴きました。

遺跡で活動する市民グループの方からの活動成果や遺跡の魅力の御説明、来場者の質問に対する登壇者からの回答など行いました。令和7年3月20日の「みどりとまつり」では、市民グループとともに火起こし、弓矢等の縄文体験を行い、終日、小さなお子様連れの来場者で賑わいました。

注目
2

祝! 史跡指定 **きたもと縄文まつり2024**

10月11日の官報告示を受け、
北本市の「**デーノタメ遺跡**」が
国指定史跡となりました!

デーノタメ遺跡が国指定史跡となったことを機に、皆さんにもっと縄文文化に親しんでいただくため「きたもと縄文まつり2024」を開催します。皆さん、ぜひお越しください!

イベント内容

【ステージイベント】
▶土偶女子 豊田亜紀子さん
トークショー
▶オカリナ奏者 haru さん
演奏
...and more!

【体験・出店など】
▶弓矢体験
▶土器づくり体験
▶くみ割り体験
▶「縄文鍋」の試食会 (開始
12:00 ~ なくなり次第終了)

11月30日 (土) 11:00 ~ 16:00

市役所および周辺 (雨天時は一部縮小)

・公共交通機関等での来場にご協力ください。
・詳細は市ホームページをご覧ください。
■文化財保護課 ☎ 594-5566

同時開催! &green market

■ 11:00 ~ 16:00 ■ 市役所
■ キッチンカーなどの飲食やクラフト雑貨の販売、
ワークショップの出店
■ 市民公室シティプロモーション・広報
担当 ☎ 511-9119

デーノタメ遺跡をPRするためのイベントにつきましては、令和7年11月にサンアメニティ北本キャンプフィールドにおいて、「きたもと縄文まつり2025」を産業観光課による「北本カレーフェスティバル2025」との同時開催とし、また、縄文をイメージした音楽等のステージイベントとして「土偶女子」として知名度の高い豊田(こんだ)亜紀子氏とキャンプフィールド周辺の遺跡等を散策し、縄文時代の環境や食文化、植物利用等を解説する「縄文ツアー」を実施し、縄文時代のくらしを体感していただく予定です。令和8年3月にはデーノタメ遺跡に関するシンポジウムを開催する予定です。また、体験イベントでは、火起こし体験や土器焼き体験、縄文カゴづくり体験や縄文食体験など検討を進めています。お土産品等の創出につきましては、令和6年北本市観光協会が事務局の市特産品推進委員会において「きたもと縄文みやげ」開発アイデアコンテストを開催しました。今後は「縄文みやげ」の創出を支援できる場として、縄文まつりを活用していきたいと考えております。

《総括》国指定史跡となったことで機運的には盛り上がってきたので、継続的な遺跡に関する露出を増やしてください。